

子どもとメディア 北海道

子どもとメディア 北海道

第52号
2023年
4月発行
今期第4号

～インストラクターの活用が進むために～

これまでのこと・これからのこと

- ★2018年に「子どもとメディア北海道」でインストラクター養成講座を実施して、早5年になります。養成講座時のインストラクターは16名でしたが、今年度は13名となっています。インストラクター以外の会員さんは5名です。（関心を持って下さっていることに感謝です）
- ☆北海道は広く、行政などからの補助もないため、インストラクターが講演や授業を行うことについては、それぞれのインストラクターに任せられています。3年前にはHPを開設して情報誌の掲載やインストラクターの紹介および依頼受付を行っていますが、ほとんど反応がないのが現状です。
- ★そのような会としての力不足の中でも、この1年間では88件の講演や授業を行えたのは、インストラクターお一人お一人の地道な活動の成果だと思います。

☆20年以上前から、講演活動を行っていたため、「子どもとメディア」の講演や授業依頼が多い私は、自分への依頼が受けられない場合や、複数の箇所での依頼の場合などに、近くのインストラクターを紹介するなどしてきました。が、あまり積極的にみなさんの活動の場を作り出すことに力を入れておらず申し訳ない気持ちです。

★そこで、昨年情報誌50号を記念して、「道民へのメッセージ」を発信できないか、その発信をメディアに取り上げてもらうことで、インストラクターの活動をPRできないか。」と、情報誌でも提案してみましたが、なかなかメッセージを作成することは難しかったです。

また、昨年夏に、子育て支援関係の民間の助成金に、以下のような内容(抜粋)で応募したのですが力及ばず、助成金を獲得できませんでした。

【活動地域における子育て環境の課題】

北海道では、以前にも増しコロナ禍による児童生徒の「ネット遊びの長時間化」に現場から相談増。

【具体的な活動内容】

情報誌の発行(年4回)・研修会の実施(年1～2回)・インストラクター養成支援

【副賞で実現したいこと】

*全てボランティアで運営している「子どもとメディア北海道」だが、全道の子ども達が「ネット依存に陥らないため」の啓発活動にインストラクターを派遣したい。その交通費に当てたい。

★情報誌の最後の活動報告で、「インストラクターのつぶやき」を紹介していますが、地道に講座の実施をされている方からヒントをいただくと・・・

- * 自分の仕事や活動に取り入れる・・・「読み聞かせ」活動の講座の内容にメディアのことも入れるなど
- * 地元の教育委員会や学校との連携・・・「情報モラル教育」「家庭教育学級」の主催者へのPR
- * 自分のブログやフェイスブックでの発信

☆これからも、会員・インストラクターのつながりや、それぞれのPRの工夫などを情報誌やメーリングリストを活用して実施していけたらと考えますので、積極的な発信をよろしくお願いします。

《中谷の講座準備アドバイス》

① 新聞記事やネットの情報を活用して、パワポの資料を作ります。(同封の新聞記事を参照下さい)

毎年のように、児童生徒の学力テストやスポーツ全国テストの結果が発表されています。その新聞記事の中で、体力低下の原因・対策として

「生活習慣の改善必要^A」とあります。特にメディアとの関係では、「道内はテレビやスマートフォンの画面を見る時間が全国より長いのも特徴で、平日に『5時間以上』と答えた割合は小5男子で21.5%など、小中男女いずれも全国より3.9～4.5ポイント高かった。」とあります。

PTAなどで講演する時は、このような最新のデータを紹介するようにしています。

ただし、この新聞記事の最後の方の「道教委健康・体育課は『体力向上と生活習慣の改善を一体的に進める必要がある』とした上で、情報通信技術(ICT)活用などを通じて「特に中学生が興味を持って運動に取り組めるようにしていきたい」としている」とあります。この内容の詳細は不明ですが、どうもピンとこない気がするのは私だけでしょうか？

最新のデータとして、例えば・・・

^B不登校過去最多455人(苫小牧市の小中学校)(苫小牧民報)

この記事には、「家庭での生活習慣の乱れによる心身の不調」には一切触れていません。私が学校関係者から見聞きする話とかけ離れています。おそらく「家庭の責任」という書き方はしづらいのかもしれない。だからこそ、家庭教育講演会などでは、耳に痛い話でも伝えていく必要があるのではないかと考えます。

^C学習方法「わからない」7割・小学生で急増コロナ禍影響か(東大・ベネッセ調査)

この記事は大変興味深いです。私も今年度PTAなどで講話の機会があれば、パワポの資料におこして、ぜひ使いたいと思います。「ベネッセ教育総研の木村治生主席研究員は「コロナ禍で観察や実験などの体験学習、家庭や地域での活動が減る一方、スマートフォンやゲームなどの使用が増え、学習意欲が低下した。」と指摘。そうした環境の変化は特に小学生に顕著に表れており、「最もインパクトを受けた可能性がある」と話した。

② 書籍を活用した資料づくり

最近の参考になりそうな書籍を紹介します。

- * 「発達障害」と間違われる子どもたち 成田奈緒子著(青春新書・青春出版社)
- * 「スマホはどこまで脳を壊すか」川島隆太先生監修(朝日新書)

- ③ 「子どもとメディア」関係の研修会に積極的に参加して情報収集する
今年の研修会を紹介しします。参考にして下さい。

㊦ THInet(ネット健康問題啓発者養成全国連絡協議会)主催の研修会

THInet 主催 1日研修会のご案内(2023年度) 4.20版

スマホ・ゲーム機等端末の
長時間・不適切使用による健康被害 & 予防と対策

スマホ・ゲーム機等端末の長時間使用と不適切使用による健康被害に悩む子ども達が「何を学ばねばならないか」
- 園・学校で求められる「先進的情報モラル教育=ネット健康リスク教育」の提案-



日時(2回) (時間は予定)	8月2日(水) 9時20分-16時40分	同一内容	9月24日(日) 9時20分-16時40分
会場	群馬大学(教室後日連絡)		さいたま市浦和(会館後日連絡)

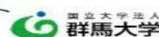
・オンラインと会場(対面)のハイブリッド開催・

研修会一部紹介/モデル授業のデモンストレーション(提供教材より)

<p>〈小学校高学年版〉 「子どもの目が危ない」</p> <p>WHOも懸念 『超近視時代』 近視問題の焦点は、「軸性近視」による強度近視の増加。強度近視から病的近視へ、さらに眼病の発症とそれによる失明の危険可能性</p> <p>「軸性近視」は眼球の眼軸が延びることにより発症。眼軸が延びている事実は、文部科学省 2022年6月発表データでも明らかに。なぜ、今の子ども達の眼軸が延びているのか。対策は、グラフにそのヒントがあり。</p> <p>一度伸びた眼軸は元に戻らない!</p> <p>(調査2) 近視発症に近見作業の長さや屋外活動の時間が及ぼす影響の追跡調査</p>	<p>〈中学3年・高校生版〉 「長時間になる仕組みと学力・脳への影響」</p> <p>東北大学が明らかにした『学力低下』 子どもの努力を無にしないために 今こそ、はじめある使い方を</p> <p>他の研究結果(脳の発達・機能不全)も提示しコントロールについて考える。</p> <p>インターネット動画視聴・睡眠と成績の関係</p> <p>引用/学習意欲の科学的に関するプロジェクトR3年度 リーフ 2022.09.06閲覧</p> <p>【(a) 動画視聴 1時間以上】 *30分勉強して7時間ほど寝ている。子どもたちは平均に届かない</p> <p>【(b) 動画視聴 1時間未満】 *30分勉強して7時間ほど寝ている。子どもたちは平均を超えている ※視聴時間が1時間以上未満で成績に大きな差が生じる。なぜか、その要因は?</p> <p>■データ(事実)を踏まえ、要因と症状、そして対策を考える授業を通して、生徒の意識改革を></p>
---	--



主催: ネット健康問題啓発者養成全国連絡協議会 (THInet)
& 群馬大学情報学部伊藤賢一科学研究費プロジェクト
問合せ: youseikyo@gmail.com



① 「NPO子どもとメディア」主催の講演会

第11回「子どもとメディア全国フォーラム」

日時: 2023年8月19日(土)~20日(日)

会場: 福岡県内の公共施設

内容: 現在検討中。講師としてすでに下記のお二人が決定しています。

8月19日: 堤 未果氏(国際ジャーナリスト)

20日: 岩宮 恵子氏(島根大学教授、臨床心理士)

㊦ 2023年度発達保育実践政策学センター (CEDEP) 公開シンポジウム

「デジタル時代の子どもの育ちを支える幼児教育・保育~OECD 幼児教育・保育白書第7部より~」

■主催: 東京大学教育学研究科附属発達保育実践政策学センター

■日時: 2023年5月26日(金) 18:30-20:30 (開場 18:00)

■会場: オンライン開催 (zoom ウェビナー)

■お申し込み: 事前申込制 先着 1,000名 参加費無料

2023年2月から2023年4月までの活動報告(10件)

月日	テーマ・内容	行事名・主催者等	担当
1月24日	令和4年度 千葉県柏市認可保育園協議会講演会	Zoom	諏訪
2月3日	苫小牧若草小学校「新生児1日入学時での保護者への子育て講話」		中谷
10日	苫小牧市明野小学校 6年生2クラス「メディアコントロール」授業		中谷
16日	別海町 小学校2校での「メディアコントロール」授業		中谷
17日	高校での「消費者教育・ネット依存予防」、乳幼児親子向け子育て講座		
19日	更利村「教育を考える村民集会」基調講演		中谷
20日	「デジタルとの幸せな関係を考える」 対象:中高生保護者	みなばの森 森学舎 場所:あれとぼ	中川
24日	オンライン家庭教育セミナー「子育てにおけるスマホと生活習慣」	北広島教育委員会	三國

【インストラクターのつぶやき】(活動報告に添えられたコメントから紹介します)

【旭川・諏訪】インストラクター】

柏市の保育園の関係者の方々にお話しさせていただきました。

普段から子どもたちのスマホやゲーム使用による影響をとて心配されていて、講演会後の討論会では活発な意見交換が行われました。

園便りでスマホの使い方を載せたところ、一部ではあるが思いが響く家庭もあった園や、保護者へのアンケートを実施してみたいといった園もみられました。

今後の各園での取り組みに期待が持てそうです。

【札幌・中川インストラクター】

1月に小3～中3向けに開催したのですが、その保護者の方から依頼があり、タイトルは同じで、保護者向けの内容としました。

丁度この頃、OpenAIの生成系AI「ChatGPT」が日本でも知られ、自分で実際に使ってみてその高い性能に衝撃を受けていました。実際にデモを見てもらい、子どもたちにどんな力が必要かということをお話し合う場になりました。数か月でさらに進化しており、今後のAIの動向が気になります。

「ナカヤから中川さんにChatGPTについてお尋ねしたところ、以下の情報をいただきました。」
ChatGPT 関連、今、日々進化していて、例えば私が何か伝える準備をしたとしても、翌日にはまた新しい情報が出ているスピード感です。

たくさんの方が情報発信していますが、中田さんのYoutubeがわかりやすいかと思えます。

<https://youtu.be/YNEb3EK4rNY>

上記の後、次々と動画をアップしています。

すでに使っている方もいると思いますが、実際のやりとり画面が見れる動画がありました。

<https://youtu.be/JtSGYfPAu4Q>

【北広島・三國インストラクター】

活動報告いたします、私は、初めて「子どもとメディアのインストラクター」として、啓発活動を行いました。

北広島市教育委員会が開催した、平日オンライン家庭教育セミナー「きたひろ子育て学ばナイト」が開催されました。3月20日（且）、23日（木）、24日（金）毎夜19:00~20:00

このセミナーは3夜にわたり開催されました。（幼、小、中学生の保護者対象）

初日は「子どものやる気を引き出す子育てコーチング」と題して（子育てコーチ）の石谷二美枝さんでした。2日目は「無意識の口癖、子どもの自己肯定感を上げてる？下げてる？」と題して（コミュニケーションコーチ）の八十島聡子さんでした。

3日目は「子育てにおけるスマホと生活習慣」と題して三國がお話しました。今回は、平成30年全国家庭教育支援研究協議会の基調講演東北大学の川島隆太教授がお話した内容に沿って進めました。（50分）

《主な内容》

「睡眠不足は海馬の発達に影響」 「スマホの使用時間と学力の関係」

「インターネット習慣の多い子は脳発達が阻害される」

「勉強中に使用するアプリの影響について」「朝ごはんはバランスよくしっかり食べる」

上記のような内容についてお話をさせていただきました。

質問や感想が寄せられました。「スマホの影響について・・・知らなかった」「子育ての参考になった親（自分自身）が気を付けたい」「スマホをいつ頃から持たせたらいいか」

今後、学校やPTA関係者に啓発できる機会を設けていただくよう改めて要請しました。

セミナー参加者が20名程で少なかったことが少し残念です。しかし、このような機会を頂いたことに感謝します。

会員更新の時期となりました。

2023年度の会費の納入をお願いいたします。年会費(1500円)を、手渡しか、郵便小為替か郵便振り込みにて納入ください。ご面倒をおかけしますが、何卒よろしくをお願いいたします。2023年度の情報誌の発行予定月は、2023年7月・10月・2024年1月・4月の4回となります。

年会費の納入方法

①年会費1500円を、事務局に手渡しする。

②郵便小為替1500円分を事務局まで郵送する。

③ 中谷個人郵貯口座【中谷通恵(ナカヤミチエ) 19070 53986411】に、振り込む。

(必ず振り込んだことを、ナカヤにメール等か電話で伝えてください。)

〈郵貯から振り込む場合〉

【中谷通恵(ナカヤミチエ) 記号19070番号53986411】に、

〈他行から振り込む場合〉

【 ゆうちよ銀行 九〇八支店 普 5398641 】

*新規の方や、次年度と情報誌の発送先が変わった方は、事務局まで、住所をお知らせください。

0 9 0 - 3 7 7 3 - 8 3 4 9

michie-n@plum.plala.or.jp